

第 10 回 TOKIWA SPIRIT 外国語プレゼンテーションコンテスト開催！

2025 年 11 月 26 日（水）に、第 10 回 TOKIWA SPIRIT（トキワ・スピリット）を Q 棟 1 階カフェテリアにて実施いたしました。コロナ禍以来、6 年ぶりの対面開催となりました。

今年度は、6 組 7 名の参加学生により、堂々と熱のこもった、韓国語（3 組 4 名）や英語（3 組 3 名）でのプレゼンテーションが行われました。

今年度より初めて、審査員 5 名（学長、副学長 2 名、短期大学教員、英語ネイティブ教員）による採点および、観客の投票により、1 位～3 位までの入賞者を決定する方法が採用されました（入賞者は、次ページの『発表者ならびに発表内容』の中でご紹介しております）。

学生によるプレゼンテーションが行われた後、審査員より、参加学生のこれまでの努力と、外国語でプレゼンテーションを行った勇気や行動力に対し、賞賛の言葉が送られました。

また、学長より「各自が学んだ英語や韓国語を用いてプレゼンテーションに挑戦し、いずれも大変流暢でした。内容も素晴らしかったです。そして何よりも、このコンテストを実りあるものにしようと、参加者全員が協力して取り組んでくれたことを大変嬉しく思います。その気持ちこそがまさに『トキワ・スピリット』です！」とお言葉をいただきました。

参加いただいた学生、審査員、観客として場を盛り上げてくださったオーディエンス（聴講者）に、この場を借りて改めましてお礼申し上げます。



◆発表者、ならびに発表内容◆ ※発表順

澤野 愛萌さん

人間科学部コミュニケーション学科4年

「항상 적극적으로, 욕심 있게, 용기있는행동을
(常に積極的に、食欲に、勇気ある行動を)」

【韓国語】

韓国の大邱カトリック大学へ留学した経験について発表しました。留学の目的は、現地の人と交流しながら韓国語のスピーキング力を高めることでした。唯一の後悔は自ら積極的に行動できなかったことであり、友人の支えに助けられながら積極性の重要性を学びました。また、限られた時間やお金の中에서도食欲に経験を重ねることが自分の成長に繋がることを実感しました。さらに、多くの人々の支えによって留学が成り立っていたことに気づき感謝の気持ちを改めて強くしました。



柴 美咲さん

人間科学部健康栄養学科4年

「Tea ceremony club (茶道サークル)」【英語】

茶道から学んだことについて発表しました。茶道はお茶を学ぶだけでなく、生花や陶器、その他の芸術も学ぶことができる総合芸術です。茶道は心を癒してくれ、日本の伝統文化の美しさを再認識させてくれました。また、自分自身の成長にもつながりました。茶道の稽古を積み重ねていく中で、稽古に終わりはないこと、少しでも怠れば技術は劣るため稽古を怠ってはいけないことを学びました。



増淵 凜さん

人間科学部コミュニケーション学科3年

「유학에서 돌아온지 1년이 지난 자기분석 및 생각
(留学から帰国して、1年が過ぎた自己分析および考
え)」【韓国語】

韓国留学から戻り1年が経ち、性格が変化したこと(MBTIの観点から)と、留学生活で得たことについてプレゼンテーションを行いました。

性格が変化したことに初めは戸惑いましたが、留学中は韓国語のコミュニケーションを重視したoutput期、日本では知識を吸収するinput期であると定義しました。また、直近の韓国語学習方法、留学生活で得られた視点を紹介しました。



第3位

小林 孟司さん

総合政策学部総合政策学科 2 年

「International exchange through kendo (剣道を通した国際交流)」【英語】

様々な留学生たちとの剣道交流を通して、日本の伝統文化の素晴らしさに改めて気づかされ、国が違ったとしても世界中の人たちと感情を共有して友達になれるということを実感しました。このような経験から将来の夢や目標は大きく変わりました。自分の足で様々な場所に行き、色々な人との出会いや壮大な景色に触れてみたいと思うようになりました。これから先、どんな素晴らしい出会いが私を待っているのかとても楽しみです。



第 2 位

大部 珠桃梨さん

看護学部看護学科 1 年

「What true happiness means-From the street of the Philippines to my dream (本当の幸せとは- フィリピンの街での経験から私の夢へ)」【英語】

フィリピン留学中のボランティアで、私は物質的な豊かさがなくても、愛と「繋がり」を力に笑顔で生きる人々と出会いました。彼らは、本当の幸せは分かち合いの中にあると教えてくれました。しかし、貧困という見えない壁が原因で、救えるはずの命や未来が断ち切られる悲劇も目の当たりにしました。この経験から、私の将来の夢は国境なき医師団の一員となり、世界のどこかで命の危機に瀕する大切な誰かを守り、人々の幸せを繋いでいくことだと決意を語りました。



第 1 位

小野瀬 理咲さん

人間科学部現代社会学科 4 年

小林 和佳子さん

人間科学部コミュニケーション学科 3 年

「한국에서의 생활 (留学で学んだこと)」【韓国語】

韓国での留学生活で、家族と離れての寮生活を通じて自立を学んだこと、積極的に行動したことが、韓国語能力の向上や留学生活の充実につながったこと、様々な国からの留学生との交流を通して、異なる文化や考え方を受け入れる経験をし、協調性を学んだことについて発表しました。留学中に身に着けたそれらの力は、就職や、自分の家庭を持った時など、自身の将来の糧としていきたいと語りました。

